Fenchihu, Chiayi Hsien (2 exs., 7. vii. 1965, 1 ex., 8. vii. 1965, S. Kimoto leg.; 1 ex., 22. vii. 1966, H. Kamiya leg.).

Alishan, Chiayi Hsien (1 ex., 6. vii. 1965, S. Kimoto leg.).

Kuantzuling, Tainan Hsien (1 ex., 6. iv. 1965, T. Saigusa leg.).

Liukuei (=Rokki), Kaohsiung Hsien (1 ex., 14. v. 1934, J. L. Gressitt leg.).

This species is here recorded for the first time from Taiwan.

Distribution: Japan, Ryukyu Is., Taiwan.

Trachyapthona sordida (Baly, 1874)

Yangmingshan, Taipei Hsien (14 exs., 25. v. 1965, Y. Miyatake leg.).

Pahsienshan (=Hassenzan), Taichung Hsien (3 exs., 26. vi. 1934, J. L. Gressitt leg.).

Nanshanchi, Nantou Hsien (2 exs., 30. vi. 1965, S. Kimoto leg.).

This species is recorded for the first time from Taiwan.

Distribution: S. China, Japan, Taiwan.

~~~~~

***Proterops nigripennis* Wesmael の新寄主**

奥 谷 禎 一

Proterops nigripennis Wesmael チュウレンジコマユバチ (新称) は渡辺 (1937) によると、欧州では *Arge enodis* L. ヤナギチュウレンジおよび *A. atrata* F. に、本邦では *A. similis** ルリチュウレンジに寄生するとされている。筆者は 1970 年 6 月下旬、神戸市灘区六甲台の神戸大学農学部構内のアキニレに大発生した *Arge captiva* Smith ニレチュウレンジ幼虫を飼育し、36 個の繭より 7 月 15 日前後に本種の 2 ♀♀ を得た。ニレチュウレンジは、同時に宝塚市ファミリーランド附近でも大発生をしていたが、これは気付いた時期おそく飼育できなかつた。なお、以前に神奈川県下のハルニレに大発生した時に本種が羽化したと聞いている。

* 渡辺は *A. simillima* Smith と記しており、1964 年の「日本産害虫天敵目録」にもそのままウスイロチュウレンジの和名で記されている。筆者の模式標本の研究結果では *A. simillima* は *A. berberidis* Klug, 1812 ハサミチュウレンジのシノニムで、この時代にはルリチュウレンジと学名が混同して用いられている。渡辺の報告にある飼育者などのデータからみて、学名使用上の誤と認め *A. similis* ルリチュウレンジと推定した。